

## 株式会社 エムトリップコーポレーション



住所: 福井県福井市北四ツ居2-18-37

TEL: 0776-50-1212 FAX: 0776-50-1200

URL: <http://mtripco.jp/dokonama.html>

活用施策: 新連携事業

認定事業名: 携行型生ビールサーバーの開発・製造および販売事業

連携参加者: 有限会社ネオテック

(福井県福井市上細江町35-1-4)

### ◇新事業への取組と事業申請

旅行中の車内で定番の飲み物といえば、缶ビールである。長時間のバス旅行では、移動中もおいしいビールを飲みたい、という要望があるが、旅行会社やバス会社にとっては、ビールサーバーをバス車内に設置するのは現実的でなく、缶ビールを提供するのが通常である。

宇野社長は、「予想を最大限に超える旅行を提供する」を経営理念として旅行会社を経営するなかで、顧客の熱い要望に応えるため、飲食店用のビール樽から生ビールを提供できる車内用ビールサーバーの開発に取り組み、平成21年に1号機を完成させた。このビールサーバは、どこでも生ビールを飲めるという意味で「どこ生」と名付けられ、首都圏展示会で展示したり、バス会社へ貸し出したりするなかで、「どこ生」に対する顧客の反応を確かめていった。その結果、「どこ生」の実用化には、一層の小型・軽量化（特に冷却媒体）と、冷却用氷水の排水処理の確立といった課題の解決が不可欠であることが分かった。

旅行業であるエムトリップコーポレーションは、これら課題の解決に必要なものづくり技術を持ち合わせていなかったが、ある日、宇野社長が添乗した福井東商工会の旅行で、プレス・曲げ加工分野で高い技術を持つネオテックの松川社長と出会い、意気投合。「どこ生」の完成、ひいては旅行者の楽しみを創造するため、エムトリップコーポレーションの企画・販売力と、ネオテックの加工技術を持ち寄り、平成23年9月に新連携事業として認定を受けている。

### ◇商品の魅力

「どこ生」には、バス車内で生ビールを提供するための様々な工夫がちりばめられている。

その一端が、「どこ生」のデザインに現われている。バス車内で使用するため、本体内部への排水機構の取り込み、夏でも冷える冷却機構、女性添乗員でも持ち運びできる軽さ、排水が簡単にできる容器、そしておしゃれなデザインなどを実現しなければならなかった。これらの相反する課題を解決するため、冷却機構、収納機構に強みを持つ企業、商品設計にデザイナーが加わりスタイリッシュな製品に仕上げている。

実際に「どこ生」を使用した旅行者からは、バス車内でおいしい生ビールを楽しめる喜びに加え、自らビールを注ぐことの楽しさも、高く評価されている。

さらにバス会社の添乗員からは、ビールの空き缶処理作業から解放された喜びも報告されている。

### ◇今後の展望

現在、新連携事業の認定により応募できる経済産業省の補助金を活用し、更なる性能の向上と販売・PR体制の拡充に取り組んでいる。将来は、月40台の販売を目指し、製造体制の整備と新規販路の開拓をすすめている。

販路開拓のなかで、座敷宴会で使いたいという新しいニーズも生まれている。「どこ生」が各地で提供されることで、宇野社長の想いである日本の旅行業界の活性化の寄与に尽力している。

(2012年3月)

宇野社長

どこ生

